

# 2019年度予算案の焦点



# 国保税据え置き予算案「国保特別会計」

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

米原市は13日に19年度米原市予算案を発表しました。注目の国保予算について県国保運営協議会では引上げを答申しましたが、高すぎる国保税を引き下げよの市民の声の中で米原市は19年度国保税率を据え置きにするの方針がだされました。一般会計については3・5%の伸びとなりました。

### 国保基金繰入で調整

19年度国保特別会計の当初予算の概要で次のように説明しています。

「米原市国保の状況は、これまでの医療費が増加傾向で推移してきましたが、被保険者数の減少や診療報酬改定の影響などにより、保険給付費総額は平成28年度以降減少に転じています。

国保制度改革に伴い、19年度から県が国保の財政運営の責任主体となったことから、予算の大半を占める保険給付費および国保事業費納付金については県が算定しており、これに基づいた金額を計上しています。

国民健康保険税については、県が示す19年度標準保険料率に過年度分の交付金の精算が大きく影響し、現行税率を上回っていることから、基金等を繰り入れることにより調整を行う予定であるため、現行税率を基に試算しています。

保健事業費については、特定健診・特定保健指導、医療費通知やジェネリック差額通知、また、スマートフォンを使った健康推進事業など被保険者の健康の保持増進、財政運営健全化に資する費用を計上しています。」

### 県の国保基金20億円

現在米原市の国保基金は

2億8千万円あり、今回予算の中で、基金取り崩しは5千8百万円が予定されており、予算どおり取り崩しても、2億円以上の基金が残りです。

財政責任をもつ県においては国保財政安定化基金がすでに20億円造成されており、今後は国、県、市町で更に積み上げるとしています。また2024年には県は保険料の統一化を進めるとしています。保険料が統一されれば、市の基金はもつ意味はありません。基金の計画的な活用が求められます。

### 滞納世帯15%、一般会計繰入を

県は保険料の統一化をすすめるようとしています。市町の国保料の決定権を奪うものであり市町独自の施策を不可能とするものとして反対しています。現在国保税滞納世帯は724世帯15%となっており、保険料負担率が限界となつています。米原市としても可能な

### 一般会計の焦点

一般会計予算については、201億4千万円3・5%増となり、6億8千万円増となっています。増の原因は、統合庁舎整備工事費14億円が主なものです。この統合庁舎整備費を除けば96%のマイナ

ス予算となつていきます。このような厳しい予算の中でも工場等誘致条例は5年間の延長を提案しています。一昨年、住民から強い要望のあった「住宅リフォーム制度」については、期限が来たからとして延長はされませんでした。この制度が本当に有効なのか検証が必要で

今回の予算について2つの最重要点と6つの重点取組事項を計上したとしています。最重要点は①安全安心なくらしの実現(防災体制の強化)②つながりの強化と創出(移住定住対策の推進、関係人口の増)。重点は福祉、教育人権、環境防災、産業経済、都市基盤、都市経営に関する6つのスローガンが掲げてあります。本当にこれらのスローガンについて住民の生活目線で検証する必要があります。3月議会での議員の真摯な討論を期待します



共産党議員団の対県交渉



**雑感** 国会で安倍首相は6割の自治体が自衛隊の募集事務を妨害していると自民党大会で挨拶したそうです。そのために自衛隊を憲法に書き加えなければならぬと。これはフェイクでないかと国会質問が行われました。よく聞いてみると、自治体が紙や宛名シール等で若者の情報提供しているのが4割で、閲覧だけなのが約5割で、ほぼ9割以上がなんらかの協力をしているそうです。平気でフェイクを広げる安倍首相。自衛隊も閲覧申請だけで済ませている場合も多いので、個人情報が平気で自衛隊に。いつでも徴兵制がすすめられる。安倍首相の憲法改悪の意図が透けて見える。米原市はどうなのか聞いてみたい。